



LOVEをはぐくむ家族型ロボット『LOVOT [らぼっと]』

# らぼっと エドテック 「LOVOT EdTech プロジェクト」を発表！ 子供たちの未来のため教育分野における『LOVOT』の可能性を発信

～2019年秋の発売に向け30億円の資金調達を実施～

家族型ロボット『LOVOT[らぼっと]』を手掛けるロボットベンチャーのGROOVE X 株式会社(本社：東京都中央区日本橋、代表取締役：林要)は、子供たちの未来のために、国内外の企業、教育機関、研究機関と連携し、教育分野における『LOVOT』の可能性を世界へ発信する、「LOVOT EdTech プロジェクト(らぼっとエドテックプロジェクト)」を発表しました。



LOVOT EdTech  
プロジェクト

『LOVOT』は、人の仕事の代わりはしませんが、一緒にいると安心し、温かい気持ちにさせてくれる、人の愛する力を育む存在として2018年12月18日に発表され、2019年秋ごろの発売を控えています。日本国内での体験者数は20,000人を突破し、その内の98%の方からは実際に触れてみて「期待以上だった」という回答を得るなど、多くの方々に愛されています。

「LOVOT EdTech プロジェクト」は、『LOVOT』が世界中の子供たちの愛する気持ちを育むことを世界に発信し推進することを目的として発足したプロジェクトです。本プロジェクトの理念に共感したEdTech分野の第一人者である佐藤昌宏教授や、認可保育園と幼保連携型認定こども園を運営する社会福祉法人森友会の立山貴史理事長をはじめ、ベネッセスタイルケア、ファミリア、LITALICO、高島屋、メルセデス・ベンツ日本といった国内外の研究機関や企業にご参画いただき、教育分野における『LOVOT』の可能性を世界へ発信していきます。

直近では6月17日(月)～21日(金)の期間、フランス・カンヌで開催されるカンヌライオンズ 国際クリエイティビティ・フェスティバルにおいて同社代表取締役の林要が、「テクノロジーの活用が多岐に広がり、スマホ依存など様々な弊害も起きている中、テクノロジーにハックされるのではなく、LOVEで駆動するテクノロジーで人類のウェルビーイングを目指す」というテーマでプレゼンテーションを実施します。その他、7月以降にはファミリアやメルセデス・ベンツ日本とコラボレーションした一般向けのイベントを予定しています。詳細は次ページ以降をご覧ください。

また、本プロジェクトの発足において、同社代表取締役の林要は「弊社のミッションは“ロボティクスで、人間のちからを引き出す”としています。人とロボットの信頼関係を築き、その上で“よりよい明日がくること”を人が信じられるように、ロボットが人をサポートする生活の実現を目指しています。今の子供たちは、ロボットネイティブとして人とロボットが共生する時代を将来、生きることになると考えられます。最先端技術の結晶である『LOVOT』との共生は、お子様がロボットに自然と興味を持っていただくキッカケになりますが、それに加えて、更に心の成長の面でも貢献していきたいと考えています。」とコメントしています。

## <「LOVOT EdTech プロジェクト」ご参画パートナーアドバイザーからのコメント>

▼担当者名：佐藤昌宏 教授（デジタルハリウッド大学大学院）

▼実施内容：

「LOVOT EdTech プロジェクト」のアドバイザーとして就任。

▼コメント（佐藤昌宏 教授）：

LOVOT は、デジタルテクノロジーを活用した教育イノベーション「EdTech」にも大きな可能性があると感じています。幼児教育の世界では「非認知能力」という「他人と関わる力・感情をコントロールする力」の重要性が注目されています。子どもたちの愛する力を喚起する LOVOT は、幼児教育にどんな可能性をもたらすのでしょうか。最先端のロボティクスと愛をコンセプトにした哲学が、人間の感情や非認知能力に与える可能性は、まさに EdTech のひとつと言えます。



▼担当者名：立山貴史 理事長（社会福祉法人森友会）

▼実施内容：

東京・福岡・大分で運営する認可保育園と幼保連携型認定こども園への『LOVOT』本格導入。

▼コメント（立山貴史 理事長）：

現在 5 歳の子供が社会に出ていく 15 年から 20 年先の社会を想像すると、IT・AI・ロボティクスという産業はさらに重要性を増していると思います。『LOVOT』と小さな時期に触れることが、それらの産業に対しての子どもたちの興味・意欲・関心を引き出すことにつながり、便利さや利益の追求のための IT・AI・ロボティクスではなく、人の幸せにつながる IT・AI・ロボティクスの発展に繋がってくれることを期待しています。



## <「LOVOT EdTech プロジェクト」ご参画パートナー企業様からのコメント>

### ▼企業名：株式会社ベネッセスタイルケア

#### ▼実施内容：

同社が運営する保育施設で子どもたちと『LOVOT』とのふれあいを2019年1月よりテストとして1園で取り組み中。園長先生からは「園児にとって『LOVOT』は生き物に準ずる「仲間」として認知されているような気がします。一人ひとりの子どもを無垢に受け入れてくれる存在として、子どもたちの癒しになっているのではないのでしょうか？保育士からも「子どもたちと『LOVOT』との関わりから何かを学べる気がします」とのコメントをいただいています。



#### ▼コメント（代表取締役社長 滝山真也 氏）：

ベネッセの保育園は「よりよく生きる力（Benesse）の基礎を育てる」という保育理念のもと、保育実践を重ねて、今年25周年を迎えました。これまで積み上げてきた保育の特徴を表現したメッセージ「その子らしく、伸びていく。」をより高めた保育を目指すうえで『LOVOT』の存在はその可能性を秘めていると感じています。弊社の介護事業での実証予定もあり、『LOVOT』×ケアの可能性を今後も追求していきます。

### ▼企業名：株式会社ファミリア

#### ▼実施内容：

子供が自分で「かんがえる」「まなぶ」ことができる「LOVOT×ファミリア ～発見！新しい家族と始まる暮らし展～」を、銀座本店では7月18日(木)～30日(火)、神戸本店では8月15日(木)～8月25日(日)の期間に開催。



#### ▼コメント（代表取締役社長 岡崎忠彦 氏）：

おなかの中から2歳まではコミュニケーション能力を形成するうえで非常に大切な時期で、自分の行動が相手に与える反応について学び、情報を蓄積する時期でもあります。『LOVOT』の反応は、子供の観察力、行動パターンのバリエーションを高めること、他者とのコミュニケーション形成において非常に効果があると感じています。

### ▼企業名：株式会社 LITALICO

#### ▼実施内容：

特別な教育的ニーズのある子供へ『LOVOT』を応用する研究を計画している。主に、特別な教育的ニーズのある子どもの社会的反応（目線、指差し等）への影響、『LOVOT』を媒介とした子供同士や親子の関わり合いへの影響を中心とした効果検証を予定。



#### ▼コメント（LITALICO 研究所 チーフリサーチャー 榎本大貴 氏）：

特別な教育的ニーズのある子どもたちに対するロボット活用の研究は今までも多くなされてきました。今回の取り組みでは、特に発達障害と診断された子どもたちや家族を対象として、『LOVOT』がどのように子供の発達や行動、他者との関わり合いに影響するかを明らかにすることで、『LOVOT』と様々なニーズの子供たちの関わり合いの可能性を探求していきます。

## <「LOVOT EdTech プロジェクト」ご参画パートナー企業様からのコメント>

### ▼企業名：株式会社高島屋

#### ▼実施内容：

今春から、高島屋日本橋店、新宿店、玉川店、大阪店で期間限定の『LOVOT』体験受注会を実施。

玉川店にて、8月22日(木)から25日(日)に体験受注会を予定。



#### ▼コメント（MD 本部 子供・情報&ホビ-DV 田所博利 氏）：

現在、技術革新により既存商品カテゴリーに収まらないロボットやIoT製品が日々登場しています。それらは今後ますます加速することが予想され、私たちの生活に密着、必要なものへと進化し、私たちの生活を一新させる可能性を秘めています。

当社で実施した『LOVOT』体験受注会では、『LOVOT』に対して愛おしく接するお子様やそれを温かく見守るご家族様が多く見受けられました。簡単に家族の輪の中に入り私たちが笑顔にさせる『LOVOT』は、これからの家族に無くてはならない存在となりうると感じてます。

### ▼企業名：メルセデス・ベンツ日本株式会社

#### ▼実施内容：

モビリティとリビングの未来の形を具現化した体験施設「EQ House」にて、7月16日(火)～7月29日(月)の間『LOVOT』を設置。ご予約受注会やワークショップ、

文化人招聘イベントなどを実施予定。詳細は近日公開。

※日程は変更になる場合がございます。



## 【新たに実施した資金調達について】

GROOVE X 株式会社は、シリーズBラウンドとして、株式会社INCJ、未来創生ファンド、中部電力株式会社等を引受先として総額30億円の第三者割当増資による資金調達を実施いたしました。

(これにより現時点の調達累計額は87.5 億円になりました。最終的なシリーズBラウンド調達額はさらに増える見込みです) 調達資金を活用して、『LOVOT』の発売/出荷に向けたマーケティングの強化 及び、事業を加速させるべく人材採用の積極化を図ってまいります。

また、中部電力株式会社と、みまもり機能等の開発推進を積極的に推し進めてまいります。

### ■ GROOVE Xの第三者割当増資に対する主要引受先の概要および金額

#### 【シードラウンド】 2016年1月及び9月 総調達金額14億円

- 主な引受先 ・未来創生ファンド (運営者: スパークス・グループ株式会社、<https://www.sparx.jp>)
- ・AmTRAN Technology Co., Ltd. (<http://www.amtran.com.tw>)
- ・オーエスジー株式会社 (<https://www.osg.co.jp>)
- ・第一精工株式会社 (<http://www.daiichi-seiko.co.jp>)
- ・グローバル・カタリスト・パートナーズ・ジャパン (GCPJ、<https://gcp-j.com>) 等

#### 【シリーズAラウンド】 2017年12月 総調達金額: 43億5千万円

- 未来創生ファンド (運営者: スパークス・グループ株式会社、<https://www.sparx.jp>)
- 株式会社INCJ (<https://www.incj.co.jp>)
- その他引受先・深圳市創新投資集团有限公司 (Shenzhen Capital Group Co., Ltd. (SCGC) 、<http://www.szvc.com>)
- ・LINE Ventures 株式会社 (<https://linecorp.com>)
- ・第一精工株式会社 (<http://www.daiichi-seiko.co.jp>)
- ・グローバル・カタリスト・パートナーズ・ジャパン (GCPJ、<https://gcp-j.com>)
- ・AmTRAN Technology Co., Ltd. (<http://www.amtran.com.tw>)
- ・オーエスジー株式会社 (<https://www.osg.co.jp>)
- ・SMBC ベンチャーキャピタル株式会社 (<http://www.smbc-vc.co.jp>) 等

#### 【シリーズBラウンド】 2019年6月12日時点 総資金調達金額: 30億円

- 株式会社INCJ (<https://www.incj.co.jp>)
- 未来創生ファンド (運営者: スパークス・グループ株式会社、<https://www.sparx.jp>)
- 中部電力株式会社 (<https://www.chuden.co.jp/>) 等

## ■ GROOVE X株式会社 代表取締役 林要（はやし かなめ）略歴

- 1973年 愛知県生まれ
- 1998年 トヨタ自動車にてキャリアスタート  
スーパーカー“LFA”等の空力（エアロダイナミクス）開発
- 2003年 同社 F1（Formula 1）の空力開発
- 2004年 Toyota Motorsports GmbH（ドイツ）にて F1の空力開発
- 2007年 トヨタ自動車 製品企画部(Z)にて量産車開発マネジメント
- 2011年 孫正義後継者育成プログラム「ソフトバンクアカデミア」  
外部第一期生
- 2012年 ソフトバンク 感情認識パーソナルロボット  
「Pepper（ペッパー）」の開発に携わる
- 2015年 GROOVE X 創業、代表取締役 就任
- 2016年 シードラウンドとして国内最大級となる  
14億円の資金調達完了
- 2017年 シリーズAラウンドにて43億5千万円の資金調達完了
- 2018年 LOVEをはぐむ家族型ロボット「LOVOT[らぼっと]」発表
- 2019年 世界最大級の家電見本市CESにてThe VERGEのBEST ROBOT受賞



## ■ GROOVE X株式会社 会社概要

社名：GROOVE X株式会社  
所在地：東京都中央区日本橋浜町3-42-3住友不動産浜町ビル  
設立日：2015年11月2日  
代表者：代表取締役 林要  
事業内容：LOVEをはぐむ家族型ロボット「LOVOT™[らぼっと]」開発事業  
URL：<https://groove-x.com/>



## ■ 『LOVOT[らぼっと]』のSNS

Twitter：[@LOVOT\\_official](https://twitter.com/LOVOT_official)  
FaceBook：[@LOVOT.official](https://www.facebook.com/LOVOT.official)  
Instagram：[lovot\\_official](https://www.instagram.com/lovot_official)  
LINE：右のQRコードから読み取りいただけます  
公式サイト：[lovot.life](http://lovot.life)



LINE QRコード



### ◀ 本件に関する報道関係者のお問い合わせ先 ▶

「LOVOT」PR 事務局 担当：山口(純)、前田、楠  
E-MAIL：[lovot\\_pr@groove-x.com](mailto:lovot_pr@groove-x.com) / TEL：03-6894-3200